
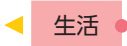





項目	観点	特色	具体例
1 目標と内容の取り扱い	学習指導要領の目標や内容との関連が十分図られているか。	①学習指導要領の目標が達成できるように、各章ごとに導入ページを設け、学習すべき章全体の目標を明確にするとともに、各小単元の冒頭にそこで学習する課題を明示している。	各章、各小単元
	基礎的・基本的知識や技能の習得が図れるように配慮されているか。	①各小単元の本文で <b>基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示</b> し、学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮している。 ②章の終わりに、 <b>知識及び技能を定着させるための問題</b> を設定し、学習した内容を児童が振り返りながら確認できるようにしている。	各小単元  3・4年 p.20,36 5・6年 p.16,32,56
	思考力、判断力、表現力等の育成が図れるように配慮されているか。	①教科書全体で、 <b>課題解決学習</b> を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮している。 ②課題を発見する活動、課題を解決する活動、学習したことを活かす活動など、様々な活動により、 <b>思考力、判断力、表現力等が総合的に育成</b> されるように配慮している。 ③友達と話し合ったり、教科書やノートに記入したりすることで、自分の言葉として表す表現力が育成されるように配慮している。	各小単元  各小単元  各小単元
	学びに向かう力・人間性等の涵養が図れるように配慮されているか。	① <b>口絵</b> では、児童が保健を学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるように工夫している。 ② <b>章のはじめに「学習ゲーム」</b> を掲載し、児童がゲームを行うことで自然と学習の課題に気づき、意欲的に取り組めるよう工夫している。 ③小単元の導入の活動では、身近な題材や自分の生活について取り上げ、振り返ったり、考えたりする活動を通して、主体的・積極的に学習に取り組む態度が育成されるように工夫している。 ④第4学年の身長伸びをテープの長さで示す活動において、シールを使うことで児童の興味・関心を高め、活動の円滑化ができるようにしている。	3・4年 p.3~4 5・6年 p.4  3・4年 p.6~7,22~23 5・6年 p.6~7,18~19,34~35  各小単元  3・4年 p.25
	言語能力の育成が図れるように配慮されているか。	①教科書全体で活動を通して、思考したことを記述し、対話や発表をして他者に伝えることで、思考から表現する力が育成されるように配慮している。 ②資料などの読み物から思考することで、認識し、思考する力が育成されるように配慮している。 ③第6学年の「たばこの害」や「飲酒の害」では、誘われたときの断り方を思考し、 <b>ロールプレイング</b> を行うことで、言語活動を通して他者とのかわりについて学べるように工夫している。	各小単元  各章  5・6年 p.47,49
	道徳教育との関連が図られているか。	①第3・4学年「受けつがれていく命」、第5・6学年「ともに生きる」で、生命尊重について、 <b>命の大切さと自他を尊重することの大切さ</b> を取り上げている。 ②家族愛、伝統と文化の尊重、国際理解など、道徳教育との関連に配慮している。 ③第5学年の「心の健康」では、コミュニケーションを大切にし、よりよい人間関係を構築するための力が育成されるように配慮している。	3・4年 p.37 5・6年 p.57  3・4年 p.10,34,37 5・6年 p.7,9,30,57  5・6年 p.9,15


項目	観点	特色	具体例
1 目標と内容の取り扱い	体験活動の充実が図れるように配慮されているか。	①第3学年「1日の生活のしかた」では、規則正しい生活習慣とともに、地域の人にあいさつをすること、家庭で家事の手伝いをすることについて触れている。 ②5・6年「学習のヒント」では、地域で働く人へインタビューしたり、地域の活動に参加したりすることについて扱っている。	3・4年 p.10～11 5・6年 p.2
	情報活用能力・情報モラルの育成が図れるように配慮されているか。	①「調べてみよう」などの活動を通して、健康や安全に関する情報を適切に収集し、集めた情報から意思決定・行動選択するために必要な力を育むことができるように配慮している。 ②学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、ホームページ上にデジタルコンテンツを用意し、対応するページにマークを示している。  ③5・6年巻頭、第5学年「心の健康」・「けがの防止」では、SNS等、インターネットを正しく利用するために、特徴や使い方、危険などについて触れた資料を掲載している。 ④第6学年「病気の予防」では、パソコンやタブレットを使用する際の姿勢や明るさについて触れた資料を掲載している。	3・4年 p.28 5・6年 p.42,48,50,52 3・4年 p.16,18,33 5・6年 p.15,31,32,37,46,49,51 5・6年 p.2,14,27 5・6年 p.54
	問題発見・解決能力の育成が図れるように配慮されているか。	①課題に対して切実感や興味・関心をもてるように、児童が実生活・実社会で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的・体験的な解決が図れるようにしている。	各小単元
	「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。	①教科書全体で活動等を通して、自らの課題を発見し、主体的に取り組み、資料から読み取ったり友達と話し合ったりするなどの対話から思考を広げて深め、深い学びが実現できるように配慮している。 ②活動や資料では、仲間との協働、教師や地域の人との対話、書籍や新聞などを手がかりに思考できるように工夫している。	各小単元 各小単元
2 指導計画と指導上の配慮	教科横断的な視点にたった資質・能力の育成が図れるように配慮されているか。	①国語、算数、生活、理科など、他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、他教科に関連していることが一目でわかるようマークで示している。 	3・4年 p.8,15,25,33,37 5・6年 p.9,42,45
	小学校と中学校の学習内容の円滑な接続への配慮がされているか。	①初めて「保健」を学習する第3学年で、「保健」を学ぶ意義を知る導入ページを設置し、保健への興味・関心を引き出すことができるよう工夫している。 ②小中連携を意識し、発展的な学習内容について中学校で学習することなどを示し、小学校の学習内容をさらに掘り下げていく中学校の保健体育を学習する際、足がかりになるようにしている。 ③第6学年の「地域で行われている保健活動」については1単位時間を設定し、中学校との系統性を考慮して、保健所や保健センターで行っている活動を、具体的にイメージできるようなイラストで示している。 ④第6学年の「学習のまとめ」として、児童が中学生になることを自覚し、小学校保健で学習したことを中学校生活へ活かすことができるような活動を掲載している。	3・4年 p.3～4 3・4年 p.34～35 5・6年 p.20,27～28,30～31,41,51,54～55 5・6年 p.52～53 5・6年 p.56

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮	キャリア教育に対応した指導ができるよう配慮されているか。	<p>①アスリートやプロ棋士に「健康のために気をつけていること」に関してインタビューした内容を掲載し、多様な立場の人々が社会で活躍していることを理解できるよう工夫している。</p> <p>②学校・地域で保健活動に関する職業を紹介し、身近な健康を支える人々への関心がもてるように配慮している。</p>	<p>3・4年 p.4</p> <p>3・4年 p.19 5・6年 p.2,53</p>
	特別支援教育の観点から、多様な児童の特性に対応できるような配慮がされているか。	<p>①専門家の監修のもと、読みやすい、見やすい紙面となるよう読みやすい位置での改行を実現、全面的にユニバーサルデザイン(UD) フォントを使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなどして、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>②拡大教科書を発行し、弱視者に配慮している。</p>	<p>各章</p> 
	人権、生命尊重についての配慮がされているか。	<p>①命の大切さと自他を尊重することの大切さを取り上げている(第3・4学年「受けつがれていく命」,第5・6学年「ともに生きる」)。</p> <p>②教科書全体で、児童が活動する場面では、ジェンダー(社会的な性別)を意識し、男女が同じくらいの人数になるように配慮している。</p> <p>③教科書全体で、自分や相手を大切にできるようお互いに認め合い、信頼し合うことにつながる活動を取り上げている。</p> <p>④第6学年では、感染症に関する内容を発展的に取り上げ、児童が人権について考えられるよう配慮している。</p> <p>⑤地域の場面では、障がいのある人と共に生きる様子を示し、障がいのある人に対する理解と支援についての関心を引き出すようにしている。</p>	<p>3・4年 p.37 5・6年 p.57</p> <p>各章</p> <p>各小単元、特に 5・6年 p.15</p> <p>5・6年 p.41</p> <p>5・6年 p.7</p>
	保健の見方・考え方をはたらかせることができるよう配慮されているか。	<p>①各小単元で学習課題と学習内容を明確に示すことで、保健の見方・考え方を身につけることができるよう配慮している。</p> <p>②各小単元で「活用して深めよう」を設置し、活動を行うことにより保健の見方・考え方をはたらかせることができるよう工夫している。</p>	<p>各小単元</p> <p>各小単元</p> 
	防災・安全教育に対する配慮がされているか。	<p>①第5学年に「自然災害から身を守る」を新設し、活動を通して、自然災害が発生した際の行動を身につけられるよう、また、安全マップを作成して普段から身の回りの危険を意識し、自然災害に備えられるように工夫している。</p> <p>②地震や津波の際の避難場所の標示写真を掲載するとともに、「ミニちいき」で自然災害に備えた準備などについても触れている。</p>	<p>5・6年 p.28～29</p> <p>5・6年 p.28～29</p>
	家庭、地域社会との連携が図れるように配慮されているか。	<p>①家庭や地域において保健で学習したことを活用できるよう、該当箇所に「おうち」「ちいき」マークを新設している。</p>	<p>3・4年 p.13,32 5・6年 p.23,29,53</p> 
伝統や文化に関する教育が図れるように配慮されているか。	<p>①第4学年では「成長を祝う行事」を紹介し、日本の伝統・文化についての資料を掲載している。</p> <p>②第5学年では、イラストで日本の正月の様子を掲載している。</p>	<p>3・4年 p.34</p> <p>5・6年 p.9</p>	

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮	食育を含めた心身の健康の保持増進に関する内容の充実が図られているか。	<p>①教科書全体で児童が自分の食生活や健康に目を向けることができるよう配慮している。</p> <p>②第3学年では、食事をしっかりとることで元気に運動や勉強ができることを示し、生活リズムの中の食事の大切さを理解できるよう配慮している。</p> <p>③第4学年では、給食や栄養素について示し、発育・発達の観点から食事の大切さについて理解できるよう配慮している。</p> <p>④第6学年では、生活習慣病の予防の観点から、食育に関する情報を提示して学習できるよう配慮している。</p>	<p>各章</p> <p>3・4年 p.5～13</p> <p>3・4年 p.33</p> <p>5・6年 p.42～45</p>
	国際理解を深めるための内容が適切に示されているか。	<p>①第4学年では「成長を祝う行事」を紹介し、外国の文化について触れ、興味・関心をもてるよう配慮している。</p> <p>②5・6年導入、第5学年では、「ひなん地」について、英語や中国語、韓国語でも表示された標識を紹介することで、外国語に触れるようにしている。</p>	<p>3・4年 p.34</p> <p>5・6年 p.4,29</p>
	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合うことを意識し、様々な人々との交流に十分配慮されているか。	<p>①章のはじめの「学習ゲーム」では、児童が生活する学校・家庭・地域の様々な場面で人々との交流の様子をイラストで示し、自分たちの身の回りの人々について意識できるよう工夫している。</p> <p>②第5学年の「けがの防止」では、安全マップの作成を通して、地域に目を向けることができるよう工夫している。</p> <p>③第6学年の「たばこの害」や「飲酒の害」では、ロールプレイングの回答例を考えることで、他者とのかわりについて学べるように工夫している。</p>	<p>3・4年 p.6～7, 22～23</p> <p>5・6年 p.6～7, 18～19,34～35</p> <p>5・6年 p.29</p> <p>5・6年 p.47,49</p>
	自分の成長に気づき、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつことができるような活動となるように工夫されているか。	<p>①第4学年では、体の変化について担任の先生や家の人と話している読み物を掲載し、自分の成長に気づくとともに、相談できる人々について意識を向けることができるよう工夫している。</p> <p>②第5学年の「心の健康」では、生活経験や学習を通して心が発達していくこと、様々な人々と関わっていることが実感できるよう図で表し、不安や悩みへの対処として、相談する人々がいることがわかるように工夫している。</p>	<p>3・4年p.27,29</p> <p>5・6年 p.9,12,14～15</p>
	児童がともに活動する中で、自分のよさや得意とすることができるように工夫されているか。	<p>①教科書全体として児童が肯定的に捉えられるような表現を用い、よいところを伸ばせるように工夫している。</p> <p>②第5学年「心の健康」では、友達に自分のよいところを指摘してもらいグループ活動を設定し、自分のよさに気づけるよう工夫している。</p>	<p>各章</p> <p>5・6年 p.15</p>
	児童がともに活動する中で、友達のよさに気づくことができるように工夫されているか。	<p>①活動は「話し合ってみよう」などグループで行うものを多く配置し、友達の意見を聞いたり、認めたりすることができるよう配慮している。</p> <p>②第5学年「心の健康」では、友達のよいところを指摘するグループ活動を設定し、友達のよさに気づき、思いやりの心をもてるよう工夫している。</p>	<p>各小単元</p> <p>5・6年 p.15</p>
	児童の生活や経験及び興味・関心に対する配慮がされているか。	<p>①課題に対して切実感や興味・関心をもてるように、児童が実生活・実社会で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的に・体験的な解決が図れるようにしている。</p>	<p>各小単元</p>

話し合ってみよう

項目	観点	特色	具体例
2 指導計画と指導上の配慮		②児童が新しい学習内容に興味・関心をもてるよう、章の導入に学習ゲームを取り入れるなどしている。	3・4年 p.6～7, 22～23 5・6年 p.6～7, 18～19, 34～35
	安全に活動するための配慮がされているか。	①教科書全体として児童が安全に活動できるように工夫している。	各章
	課題解決のための学習の順序について、どのような創意・工夫がされているか。	①課題解決のために教科書の学習の順序は、 「本時の学習課題」（本時で学習する内容） →「導入の活動」（興味・関心を引き出し、学習内容へとスムーズに導く） →「活動から導き出される学習内容」（活動から導き出されたことをわかりやすく図解） →「学習内容を深める資料」（資料や図などで理解をさらに広げる） →「学習内容をまとめる本文」（学習内容をまとめ、知識の確実な習得を図る） →「学習内容を活かす活動『活用して深めよう』」（学習し、理解したことを毎日の生活に活かすことで、「生きる力」が身に付く）の構成とし、児童が学習を進めることで無理なく課題を見つけ、生活に活かせるよう工夫している。	各小单元
3 内容の程度	内容の程度、分量は適切か。	①学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。 ②各章、小単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や知識は過多にならないよう、発達段階と学年に応じて精選している。 ③単元内の活動は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるように配慮している。	各章  各小单元  各小单元
	個に応じた指導に対応できるよう配慮されているか。	①「もっと知りたい!」では、学習内容に関連する資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるよう工夫している。  ②「ミニちしき」や「はってん」などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように配慮している。 	3・4年 p.18～19, 34～35 5・6年 p.14～15, 54～55  各章
	教科書の構成は、児童の発達段階をふまえたものになっているか。	①第3学年では、初めて「保健」を学習するため、健康だと思ふときはどのようなときか考えさせながら、健康という概念を児童にとって身近な生活行動と関連させて、学習に取り組みやすくなるように配慮している。 ②第4学年では、自らの成長の記録を調べることと関連を図りながら、体の成長についての学習を展開している。 ③第5学年では、「心の健康」を第4学年で学習した「思春期の心の変化」から続いて学習できるよう、学習指導要領に合わせ「けがの防止」の前に配置している。 ④第6学年では、病気の起こり方、病気の原因と予防、抵抗力の違いによる発病の有無について系統立てて考え、学習できるようにしている。	3・4年 p.5～19  3・4年 p.21～36  5・6年 p.6～15  5・6年 p.36～56

項目	観点	特色	具体例
4 内容の組織・配列・分量	学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるよう構成・配列されているか。	①教科書全体で、学習指導要領に則り、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるようにしている。	各章
	教科書の構成は、系統性をふまえたものになっているか。	①全学年とも学習指導要領に則り、指導内容を体系化して、健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるようにしている。	各章
	地域・学校の実態に応じて、指導を行うことができるよう配慮されているか。また、指導計画は3学期制・2学期制にも対応しているか。	①単元の学習内容を学習指導要領の項目に合わせ、1時間の学習内容をまとめているため、時期を問わず指導を行うことができるようにしている。 ②指導計画は、3学期制・2学期制に対応している。	各小单元
5 表記・表現	表記・表現は適切か。	①文章は児童の発達段階を考慮して、平易でわかりやすい表現にしている。 ②取り上げる内容については十分に正確性に配慮するとともに、読みやすい表現にしている。	各章 各章
	イラストや写真、グラフ、表、参考資料等は、質・量ともに適切か。	①イラストや写真は児童の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものを厳選している。 ②グラフや表は正確性に万全を期するとともに、児童が視覚的に捉えやすいように工夫をしている。 ③参考資料は科学的根拠にもとづいた最新のデータを採用し、学習の助けとなるものを提示している。	各章 各章 各章
	文字の書体、大きさなどは適切か。	①外来語等はカタカナで表記し、漢字は原則的に、学習指導要領に示されている配当学年より1学年遅らせて使用している。 ②配当学年以上の漢字で、漢字で表記した方がわかりやすい語彙は、見開きページごとにふりがなをつけて使用している。 ③記号やマークは、児童の発達段階に応じて興味・関心を引き、理解を助けることができるようなものとするとともに、言葉も添えてそれぞれの内容がわかるようにしている。	各章 各章 各章
	レイアウトや紙面構成は工夫されているか。	①専門家の監修のもと、読みやすい、見やすい紙面となるよう読みやすい位置での改行を実現、全面的にユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなどして、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。 	各章
6 印刷・製本	印刷は鮮明か。	①印刷はソフトで、美しい仕上がりにしている。特に、写真やイラストについては、鮮明で美しく仕上げている。	
	表紙、紙質、製本などは適切か。	①表紙は丈夫で汚れにくいコーティングを施すなど、長期の使用に十分耐える造本になっている。 ②製本は、針などの使用がなく、児童にとって安全な「アジロ綴じ」とし、奥までよく開くことができ、写真や図版等をきれいに見ることができるようにしている。	
	環境やアレルギーに対して配慮がされているか。	①用紙は、自然保護のため環境に配慮した紙を使用している。 ②化学物質に過敏な児童に配慮し、植物油インキを使用している。	

項目	観点	特色	具体例
7 教育基本法（第二条）との関連	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<p>①課題を見つけて解決していく、課題解決的な学習が行えるような構成にしている。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「保健の見方・考え方」をはたらかせて考える活動を多く設定している。</p> <p>③見開きごとに、本文で基本的な知識をまとめている。さらに、「資料」や「もっと知りたい!」などで知識を広げ、深めることができるようにしている。</p> <p>④自分の生活と比較したり、関連づけたりするなど、課題について思考・判断した上で、教科書に記入したり、友達と伝え合ったりして表現することで、よりよい解決方法につながり、学びが深まる活動を設定している。</p> <p>⑤学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、ホームページ上にデジタルコンテンツを用意し、対応するページにマークを示している。</p> <p>⑥第4学年「育ちゆく体とわたし」、第5学年「心の健康」では、児童が自分の体や心の変化を理解し、様々な経験や人との関わりを通して豊かな心を育むことができるように工夫している。</p> <p>⑦教科書全体を通して、児童が健康な生活のしかたを身に付け、安全に行動することができるようにし、毎日の生活のなかで意思決定・行動選択するために必要な力を育むことができるように工夫している。</p> <p>⑧教科書全体を通して、生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育むことができる構成としている。</p>	<p>各小単元</p> <p>各小単元</p> <p>各章</p> <p>各小単元</p> <p>3・4年 p.16,18,33 5・6年 p.15,31～32, 37,46,49,51</p> <p>3・4年 p.21～36 5・6年 p.5～16</p> <p>各章</p> <p>各章</p>
	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<p>①教科書全体として児童が肯定的に捉えられるような表現を用い、個人の価値を尊重できるように工夫している。</p> <p>②第5学年「心の健康」では、友達や自分のよいところを伝え合うグループ活動を設定し、自分の長所や能力に気づき、伸ばしていくことができるように工夫している。</p> <p>③専門家キャラクターの話、学校・地域での保健活動に関する職業の紹介、アスリートやプロ棋士のインタビューを掲載し、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように工夫している。</p>	<p>各章</p> <p>5・6年 p.15</p> <p>各小単元 3・4年 p.2,19 5・6年 p.2,53</p>
	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<p>①教科書全体を通して、イラストなどで職業や活動の性差をなくし、性別に限らず他者を尊重し、協力し合うことができるように工夫している。</p> <p>②パラリンピック選手のインタビューやユニバーサルデザインの施設についての資料、保健所・保健センターなどの地域で取り組まれている保健活動の学習を通して、公共的な視点を身に付けることができるように工夫している。</p>	<p>各章</p> <p>3・4年 p.4,30 5・6年 p.52～53</p>
	第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<p>①章のはじめの「学習ゲーム」では、キャラクターを探すなかで主体要因、環境要因に関わる、生活のなかでの課題が発見できるようにしている。</p> <p>②巻末の「受けつがれていく命」「ともに生きる」では、生命の連続性やがんと家族についての資料を通して、生命の尊さについて大切に考えていく気持ちを育むことができるようにしている。</p>	<p>3・4年 p.6～7, 22～23 5・6年 p.6～7, 18～19,34～35</p> <p>3・4年 p.37 5・6年 p.57</p>
	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<p>①知識を広げ、深める資料「もっと知りたい!」をわかりやすく示し、オリンピック・パラリンピック教育、キャリア教育、日本の伝統・文化等、現代的な諸課題に対応して、自らの国や文化、他国の文化を尊重することができるように工夫している。</p>	<p>3・4年 p.18～19, 34～35 5・6年 p.14～15, 54～55</p>